

やさしいことばのまほう

小 二

わたしは、ようち園のころ、少し弱虫でなき虫でした。よくころんでは、たくさんけがをしていました。いたくてかなしくて、しくしく泣いていると、いつも友だちがそばに来て

「だいじょうぶ。なかないで。」

と言ってくれました。足からちが出ていて、すぐくいたいはずなのに、友だちが心ばいしてやさしいことばをかけてくれると、ふしぎなことに、あまりいたくなくなってくるのです。そして、うれしい気もちがいっぱいになって、つらい気もちやかなしい気もちがきえ

ていきました。やさしいことばが、けがのいたみや心のいたみをけしてくれたのかな。やさしいことばは、まほうみたいだなと思いました。

やさしいことばのまほうは、ほかにもありました。わたしは、一年生のとき友だちから

「いっしょにあそぼう。」

と声をかけられたことがあります。入学したばかりで、まだ学校にもなれていませんでした。だから、とてもうれしかったし、元気がわいてきました。

それから「ありがとう」も、やさしいまほうのことばです。家でお手つだいをすると、お母さんが

「ありがとう。」

と言ってくれます。わたしは、とても

うれしくなったので、もっと手つだつて、お母さんによるこんでもらいたいと思います。

ながっていったらいいなと思います。

友だちにやさしくできた時にも、「ありがとうございます。」

と言われます。何だかいい気もちになります。

わたしは、やさしいまほうのことばをたくさんもらって、うれしい気もちになったり、元気になったりしています。だから、わたしもやさしいまほうのことばがたくさん言えるようになりたいです。そして、まわりの人をうれしい気もちにしたいです。

やさしいことばを言われた人が、また、つぎにだれかにやさしいことばをかけていく、そんなふうにどんどんつ